

第9回  
ネットワーク大津株式会社  
定時株主総会



[日 時] 令和3年9月9日(木)午前10時  
[場 所] 菊池地域農業協同組合  
大津中央支所 会議室

# 総 会 次 第

1. 開 会

2. 挨 拶

3. 来賓挨拶及び紹介

4. 議長選任

5. 書記、議事録署名者指名

6. 議 事

第1号議案 第8期事業報告及び決算の承認について  
監査報告

第2号議案 第9期事業計画(案)及び予算(案)について

第3号議案 役員を選任について

7. 閉 会

# 第 1 号議案

## 第 8 期事業報告及び決算の承認について

### 令和 2 年度

令和 2 年 7 月 1 日から令和 3 年 6 月 30 日まで

## 事業報告

### 当該事業年度における事業活動の概況

#### 1 主要な事業活動の報告

##### (1) 総務（会計・経理事務を含む）

決算・上半期、下半期監査の実施、定例・臨時取締役会の開催、会計事務・月次監査・構成員への支払事務等を定期的に処理しました。特に、構成員所得の最大化に向け、各作物の品代と交付金・地域資金の活用、地域特性に応じた作付けの各集落提案や団地化の推進を実施し、更なる法人化のメリット発揮に取組み実績を残す事が出来ました。

令和 2 年度末の農地中間管理機構を活用した農地賃借契約は、使用貸借権で契約数 367 件契約面積 74.4ha、賃借権で契約数 479 件契約面積 84.3ha、合計の契約数 846 件契約面積 158.7ha となりました。

また今年度から「農地法に従い経営面積に関しては適正な契約を結ぶ取組み」として、経営面積圃場に関して、耕作証明書を有さない圃場の持ち込みに対して農地賃借契約を進めるため、令和 3 年 4 月 26 日、5 月 24 日、6 月 23 日に「圃小作解消に伴う農地賃借契約会議」を開催しました。また該当する耕作者には農地情報の聞き取りを行い、適正な契約に必要なとなる情報収集を行いました。

令和 2 年度は、米、麦、大豆、飼料用米・TMR 他の純売上高は、164 百万円で、受け入れた交付金等は、502 百万円です。これらを原資に肥料、農薬、カントリー・コンバイン利用料等の生産費を控除し、圃場から生み出された収益の全額を作業委託

管理料や農作業賃金等として総構成員配分額 330 百万円をお返しすることができました。

これに対し、役員報酬、職員の賃金、各オペレーターの保険料、集落運営費等の一般管理費については、本社が利用権を設定し経営する農地からの収益や、農作業受託料金、また、消費税の還付等の雑収益で賄うことができました。

決算では、利益の中から将来の設備投資に備え、損金に算入できる農業経営基盤強化準備金 3,400 万円を繰入するとともに、令和 2 年度決算当期純利益の処分として、今年度も株主配当を予定しています。

## (2) 運営

東部地区農地管理班・西部地区農地管理班・本社農地管理班・機械倉庫管理班・TMR センター運営管理班を中心に各集落単位での運営を基本に集落間連携及び本社との連携を強化するため各諮問会議（班会議）並びに定期取締役会を執り行い、目の前の課題や中長期的な経営ビジョンを検討審議し、効率的かつ前衛的な運営体制に取り組んできました。

食農教育の一環として、地域の園児・児童による田植え・稲刈り体験を実施しました。コロナ蔓延防止対策で、麦踏フェスティバル（麦踏体験）を開催することができませんでしたが、今後も継続して子供たちの貴重な農業体験として実施していきます。

## (3) 作付・栽培・実証研究

令和 2 年度作付け実績は、小麦 103.0ha、大麦 134.3ha、大豆 109.7ha、主食用米 2.0ha、飼料用米 88.3ha、WCS63.7ha、飼料作物 17.1ha となりました。

飼料用米（SGS）の作付面積は、経営の安定と安全・安心・安価な自給飼料の確保を推進するため年々増加していますが、ウンカ被害の甚大な圃場が見られ、作付け方法・作付け時期の違いにより、ウンカ事前調査による防除時期の臨機応変な対応が必要となってきました。

大豆は、播種適期に梅雨による作業遅延がありましたが、その後の適期作業を実施することにより、例年並みの収穫量となりました。課題として適期播種と除草剤散布作業が検討課題となりました。

麦は生臭黒穂病の発生を防ぐため、小麦から大麦作付けの変更により大麦の作付が増加しました。種子更新・種子消毒の徹底、圃場確認の実施など生産農家への周知徹底を図り、構成員挙げて品質向上に取り組みました。

地元企業（熊本野菜育苗センター）と連携し水稻育苗（主食用米・飼料用米 13,693箱）を全委託することにより、5～6月の繁忙期における労働力の平準化が図られ適期作業を行うことができました。又、実証試験として育苗箱全量施肥栽培が2年目に入り、本年は順調な生育結果となり次年度に向け、普及拡大に取り組みます。

[実証試験研究]

1. 育苗箱全量施肥（苗箱まかせ）試験
2. 箱粒剤播種同時処理効果試験
3. フクユタカ A1（難裂莢性品種）栽培試験
4. 畦畔管理省力化技術試験（除草剤処理）

(4) 自給飼料活用型TMR（混合飼料）供給事業

令和2年度TMR出荷実績は2,954tとなり、内訳は水の恵みTMR1号358t、水の恵みTMR2号336t、水の恵みTMR3号780t、試験用TMR175t、水の恵みTMR4号1,306tとなりました。出荷戸数については、前年度より1戸増え、繁殖牛飼養農家5戸、肥育牛飼養農家4戸、搾乳牛飼養農家2戸の計11戸となりました。

稼働を開始して2年が経ち、一部試験的に給与を始めていた農家も全頭給与に切り替わったことで、出荷量が前年比2.3倍ほど増加しました。事業立ち上げ当初の計画から考えると3年ほど前倒ししており、順調に推移しています。

試験用TMRにつきましては、昨年に引き続き熊本県農業研究センター畜産研究所へ肥育牛向け全期間TMR給与試験用のTMR、同センター草地畜産研究所へ寒地型牧草及び高原野草を活用したTMRとスマート農業実証プロジェクトで使用するTMRを試験製造しました。

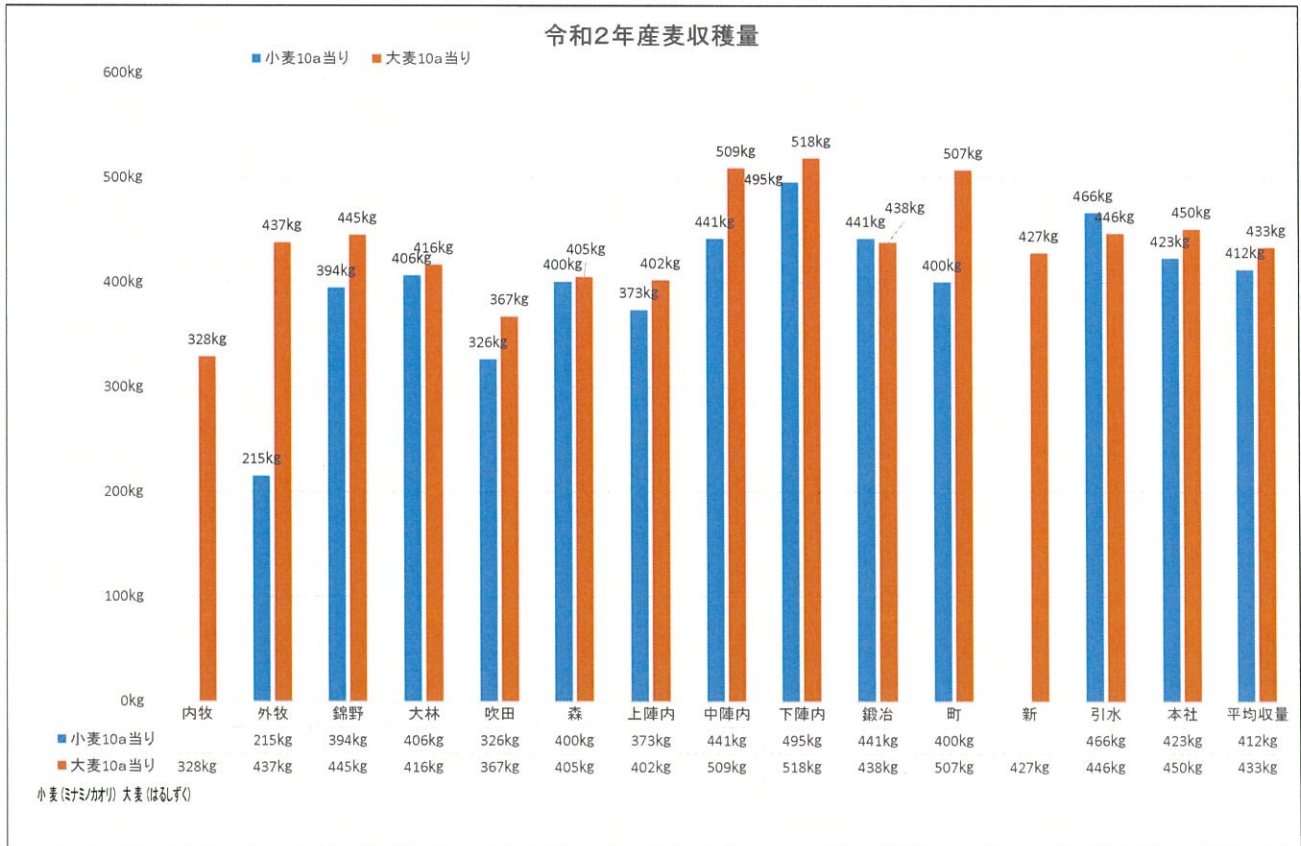
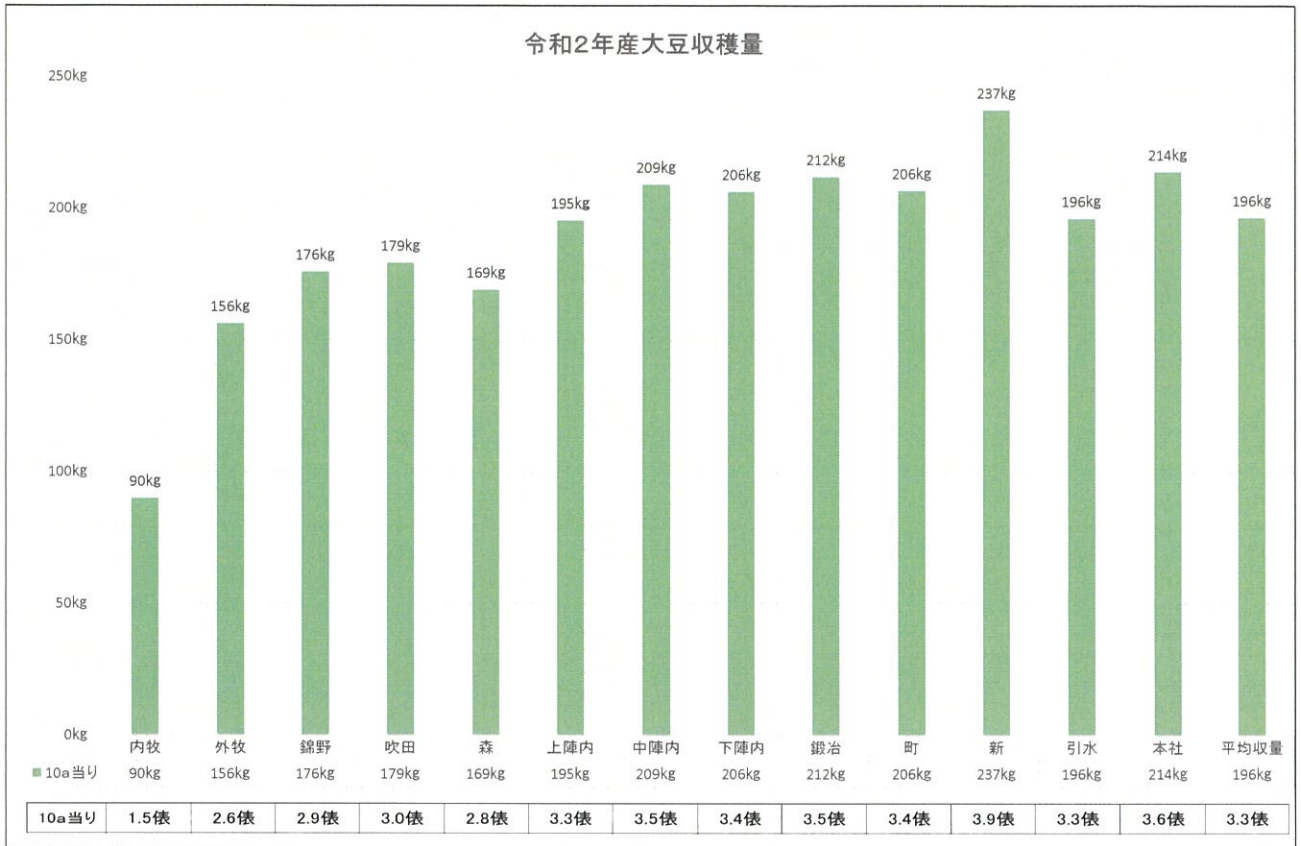
令和2年度 混合飼料供給実績報告

	計 画						実 績						
	繁殖		肥育	搾乳	試験	月計	繁殖		肥育	搾乳	試験	月計	
	1号	3号	2号	4号			1号	3号	2号	4号			
令和2年	7月	41 t	70 t	27 t	120 t	12 t	270 t	39 t	61 t	24 t	95 t	6 t	225 t
	8月	41 t	70 t	32 t	120 t	12 t	275 t	24 t	51 t	20 t	115 t	33 t	242 t
	9月	53 t	70 t	32 t	120 t	12 t	287 t	30 t	63 t	37 t	102 t	15 t	247 t
	10月	53 t	70 t	32 t	120 t	12 t	287 t	23 t	53 t	41 t	114 t	2 t	234 t
	11月	53 t	70 t	32 t	120 t	12 t	287 t	28 t	67 t	32 t	97 t	16 t	240 t
	12月	53 t	70 t	32 t	120 t	12 t	287 t	32 t	66 t	25 t	109 t	29 t	259 t
令和3年	1月	53 t	70 t	32 t	120 t	12 t	287 t	25 t	91 t	28 t	73 t	8 t	225 t
	2月	53 t	70 t	32 t	120 t	12 t	287 t	35 t	56 t	26 t	86 t	8 t	210 t
	3月	53 t	70 t	32 t	120 t	12 t	287 t	34 t	85 t	29 t	90 t	41 t	280 t
	4月	53 t	70 t	32 t	120 t	12 t	287 t	37 t	70 t	32 t	115 t	8 t	262 t
	5月	53 t	70 t	32 t	120 t	12 t	287 t	25 t	68 t	27 t	136 t	4 t	260 t
	6月	53 t	70 t	32 t	120 t	12 t	287 t	26 t	50 t	16 t	174 t	4 t	270 t
合 計		612 t	840 t	379 t	1,440 t	144 t	3,415 t	358 t	780 t	336 t	1,306 t	175 t	2,954 t
		1,452 t						1,137 t					
給与頭数		398頭		104頭	132頭	39頭		312頭		92頭	119頭	48頭	

(5) その他

作業時の安全確保や機械の保守管理の徹底を図るために、オペレーター研修を、J A・メーカーに協力をいただき本年度も実施し、技術、能力の向上に取り組みました。

# 令和2年産製品実績



# 令和2年産 作付実績

単位m<sup>2</sup>

集落	小麦	大麦	飼料作物
	ミネカカリ	はるしづく	二毛作
本社	60,770	54,449	
内牧		135,210	35,900
外牧	20,990	71,220	35,860
錦野	107,505	152,009	17,130
大林	73,028	14,000	62,143
吹田	10,260	131,163	31,500
森	79,480	117,815	19,360
上陣内	184,151	91,336	12,800
中陣内	63,600	104,766	33,860
下陣内	37,820	85,246	
鍛冶	96,950	66,690	
町	139,700	118,745	7,370
新		60,050	42,580
引水	155,357	140,143	
合計	1,029,611	1,342,842	298,503

小麦 103.0ha  
 大麦 134.3ha  
 飼料作物 29.9ha  
 237.2ha

単位m<sup>2</sup>

集落	大豆	主食用米(自家用米除く)		WCS			飼料用米(SGS)	飼料作物		
		ヒノヒカリ	ひよこもち	夢あおば	あきまさり	ヒノヒカリ	夢あおば	基幹作		
本社	69,520	1,540					58,699			
内牧	2,500	2,150	2,150		148,580	144,710	3,870	70,060		
外牧	11,680				14,550		14,550	24,637		
錦野	133,022				6,600		6,600	5,430		
大林		8,200	8,200		105,651	101,691	3,960	10,920		
吹田	29,514				129,733	129,733		11,040		
森	115,674	3,000	3,000		93,930	93,930		21,700		
上陣内	150,807	4,330	4,330		37,270	24,050		13,220		
中陣内	69,610	900	900		58,870	58,870		73,716		
下陣内	53,196							75,410		
鍛冶	84,900							60,710		
町	143,210				8,660	8,660		107,271		
新	50,240				32,770	32,770		29,010		
引水	183,088							128,054		
合計	1,096,961	20,120	18,580	1,540	636,614	594,414	28,980	13,220	882,920	171,115

大豆 109.7ha  
 主食用米 2.0ha

WCS 63.7ha

飼料用米 88.3ha  
 飼料作物 17.1ha



# 令和2年産 作物生産実績

## 令和2年産 主食用米 10a当り

収 入		支 出	
品代仮渡 ヒノヒカリ 12,900円/俵	62,486円	作業委託管理料(出来高払い)	11,213円
平均収量 291kg/10a 4.8俵/10a		作業委託料	24,000円
		育苗(種苗費含む)	8,415円
農業共済(受取共済金)	8,438円	肥料代(堆肥散布含む)	21,135円
追加品代(ヒノヒカリ参考)	11,709円	農薬代	7,991円
令和元年産JA仮渡金 12,480円/俵 (6.0俵/10a)		農業共済掛け金	1,223円
令和元年産米(ヒノヒカリ) 1,952円/俵		水利費他	3,400円
歩留・屑代・最終精算		カントリー利用料他	12,056円
稲わら代	7,000円	諸経費	200円
合 計	89,633円	合 計	89,633円

## 令和2年産 飼料用米ソフトグレンサイレージ(SGS) 10a当たり

収 入		支 出	
水田活用の直接支払交付金 ソフトグレンサイレージ(SGS)定額	80,000円	作業委託管理料(出来高払い)	85,569円
産地交付金 団地化助成(町) 1.5ha以上	28,000円	作業委託料	24,000円
飼料用・米粉用米複数年契約	12,000円	育苗(種苗費含む)	8,415円
耕畜連携助成(わら利用)(町)	10,000円	肥料代(堆肥散布含む)	13,510円
生産性向上加算(県)	5,180円	農薬代	7,086円
品代(粳米) ソフトグレンサイレージ(SGS)	0円	水利費他	3,400円
稲わら代	7,000円	諸経費	200円
合 計	142,180円	合 計	142,180円

## 令和2年産 飼料用稲ホールクロップサイレージ(WCS) 10a当たり

収 入		支 出	
水田活用の直接支払交付金 ホールクロップサイレージ(WCS)定額	80,000円	作業委託管理料(出来高払い)	41,856円
		作業委託料	16,000円
		刈取料	8,000円
		育苗(種苗費含む)	8,415円
		肥料代	4,257円
耕畜連携助成(資源循環)(町) 10,000~13,000円/10a	9,000円	農薬代	6,772円
		水利費他	3,400円
		諸経費	300円
合 計	89,000円	合 計	89,000円

令和2年産大豆10a当たり

収 入		支 出	
水田活用の直接支払交付金	35,000円	作業委託管理料(出来高払い)	88,737円
畑作物の直接支払交付金 (俵あたり約10,269円 × 3.27俵)	33,581円		
産地交付金 団地化助成(町) 1.5ha以上 28,000円/10a	28,000円	作業委託料	19,000円
産地交付金 担い手加算	3,110円	種子代	2,750円
品代仮渡 (約4,797円/俵 × 3.27俵)	15,685円	肥料代	2,838円
農業共済(受取共済金)	0円	農薬代	4,891円
追加品代(参考) (令和元年JA仮渡金 9,853円/10a)		農業共済掛け金	2,903円
令和元年産屑代・最終精算	13,101円	水利費他	3,400円
		カントリー利用料	3,658円
		諸経費	300円
合 計	128,477円	合 計	128,477円

令和2年産大麦(はるしずく)10a当たり

収 入		支 出	
水田活用の直接支払交付金 二毛作助成	11,460円	作業委託管理料(出来高払い)	40,245円
畑作物の直接支払交付金 (俵50kgあたり6,840円 × 8.7俵)	59,186円		
産地交付金 担い手加算	3,110円	作業委託料	17,000円
品代仮渡 はるしずく 900円/俵(8.7俵/10a)	7,788円	種苗費	2,387円
農業共済(受取共済金)	0円	肥料代	8,657円
追加品代(参考) 令和元年JA仮渡金 9,241円 1,300円/俵(7.1俵/10a)		農薬代	3,940円
令和元年産規格外 1,282円	2,900円	農業共済掛け金	1,671円
令和元年産最終精算 1,618円		カントリー利用料	10,244円
		諸経費	300円
合 計	84,444円	合 計	84,444円

令和2年産小麦(ミナミノカオリ)10a当たり

収 入		支 出	
水田活用の直接支払交付金 二毛作助成	11,460円	作業委託管理料(出来高払い)	39,891円
畑作物の直接支払交付金 パン・麺加算含む(2,300円/60kg) (俵あたり8,810円/60kg × 6.9俵)	60,444円		
産地交付金 担い手加算	3,110円	作業委託料	17,000円
品代仮渡 ミナミノカオリ 1,200円/俵(6.9俵/10a)	8,233円	種苗費	2,618円
農業共済(受取共済金)	0円	肥料代	12,342円
追加品代(参考) 令和元年JA仮渡金 9,618円 1,500円/俵(6.4俵/10a)		農薬代	3,940円
令和元年産規格外 1,272円	5,927円	農業共済掛け金	3,181円
令和元年産最終精算 4,655円		カントリー利用料	9,902円
		諸経費	300円
合 計	89,174円	合 計	89,174円

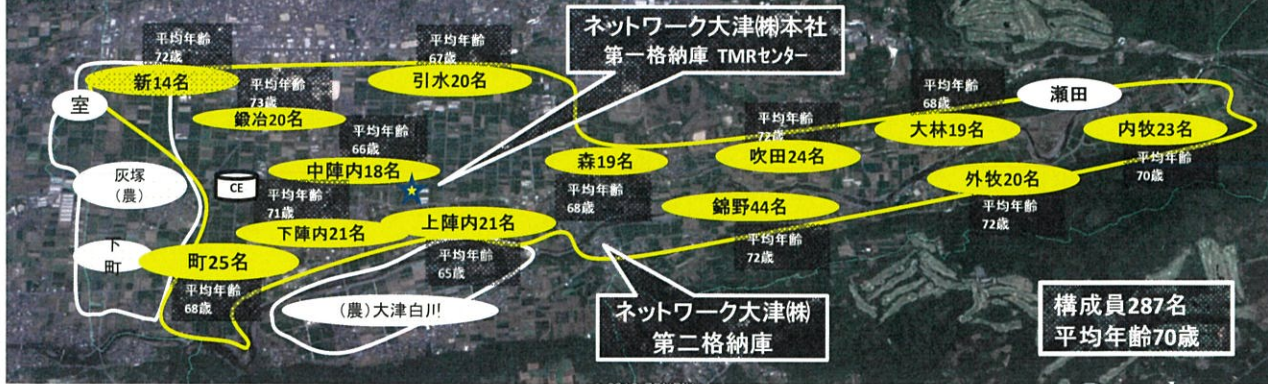
# 令和2年度における事業の経過

年	月	日	名称・処理事項	
2	7	1	辞令交付式	本社
		1	ねっとわーく広報 ～第16号～ 発行	
		3	九州沖縄農業研究センター 山田領域長との意見交換会	本社
		6	機械・倉庫運営管理班会議	本社
		6	定例取締役会	本社
		7	経営課月例会議	本社
		8	(税)未来税務会計事務所による巡回監査(6月 月次監査)【①】	本社
		16	令和2年度大豆栽培管理講習会	JA菊池南部カントリーエレベーター荷受け口
		18	(税)未来税務会計事務所による巡回監査(6月 月次監査)【②】	本社
		24	(税)未来税務会計事務所による巡回監査(令和元年度決算書 作成準備)	本社
		28	管理課会議	本社
		31	(税)未来税務会計事務所による巡回監査(令和元年度決算書最終打合せ)	本社
		31	TMRセンター運営管理班会議	本社
2	8	5	経営課月例会議	本社
		5	TMRセンター運営管理班会議	本社
		11	下期監査役監査	本社
		12	経営課・管理課合同会議	本社
		18	(税)未来税務会計事務所による巡回監査(7月 月次監査)	本社
		19	定例取締役会	本社
		27	臨時取締役会(株主総会資料の議案について)	本社
		28	氷川町農事組合法人連絡協議会 地域営農組織アドバイザー派遣の要請	JA八代 ひかわ営農センター
		31	令和2年度第1回大津町認定農業者協議会役員会	大津町生涯学習センター2階会議室
2	9	2	経営課月例会議	本社
		11	ネットワーク大津(株)第8回定時株主総会	JA菊池大津中央支所会議室
		15	定例取締役会	本社
		23	(税)未来税務会計事務所による巡回監査(8月 月次監査)	本社
		24	インボイス会議研修会	メルパルク熊本1F
		30	農事組合法人熊本すぎかみ農場 来社	本社
2	10	5	定例取締役会	本社
		6	ねっとわーく広報 ～第17号～ 発行	
		9	(税)未来税務会計事務所による巡回監査(9月 月次監査)	本社
		15	稲刈り体験打合せ(女性部)	本社
		21	大津中央支所地域営農法人連絡協議会総会及び定例会議	JA菊池大津中央支所会議室
		23	『稲刈り体験』	陣内榎鶴1078(1,540㎡)
		23	経営課月例会議	本社
		27	管理課会議	本社
2	11	2	令和3年度 麦栽培管理講習会	JA菊池大津中央支所会議室
		2	定例取締役会	本社
		4	スマート農業技術の開発実証プロジェクトの委託事業の実施に係る第3回推進会議(中間検討会及び現地視察)	熊本県農業研究センター草地畜産研究所会議室、狩尾牧場
		13	(税)未来税務会計事務所による巡回監査(10月 月次監査)	本社
		26	KSAS ヒアリング	本社
		27	大津町議会経済建設常任委員会と大津町認定農業者協議会との意見交換会	大津町役場仮庁舎2階大会議室
2	12	1	令和2年度(2020年度)TMR検討会(繁殖部門)	JA菊池パシオン
		1	定例取締役会	本社
		15	令和2年度菊池管内地域営農法人経営向上研修会	大津町文化ホール
		16	(税)未来税務会計事務所による巡回監査(11月 月次監査)	本社
		17	令和2年度(2020年度)菊池地方青年農業者会議	ピアパレスみいけ
		21	経営課月例会議	本社
		21	スマート農業技術の開発実証プロジェクトの委託事業の実施に係る第4回推進会議(成績検討会)	熊本県農業研究センター講堂

年	月	日	名称・処理事項	
2	12	22	令和2年(2020年度)育苗箱全量施肥実績報告会	本社
		25	令和2年度(2020年度)TMR検討会(肥育部門)	JA菊池パシオン
		29	仕事納め式	本社
3	1	6	ねっとわーく広報 ~第18号~ 発行	
		6	仕事始め式	
		6	新年御祈祷	窪田阿蘇神社
		6	定例取締役会	本社
		8	管理課会議	本社
		14	(税)未来税務会計事務所による巡回監査(12月 月次監査)	本社
		16	(税)未来税務会計事務所(確定申告打合せ)来社	本社
		26	大津中央支所地域営農法人連絡協議会定例会議	JA菊池大津中央支所会議室
		29	軽油引取税「免税証」の交付申請受付	熊本県菊池地域振興局第2会議室
3	2	1	定例取締役会	本社
		2	経営課月例会議	本社
		5	TMR在庫管理システム デモ	本社
		10	(税)未来税務会計事務所による巡回監査(1月 月次監査)	本社
		12	農事組合法人熊本すぎかみ農場 来社 (一般社団法人農林水産業みらい基金応募について)	本社
		15	令和3年度農林水産予算概算要求の骨子 説明 九州農政局 担当者来社	本社
		17	TMRセンター運営管理班会議	本社
		18	熊本県農業公社の売渡協議	大津町生涯学習センター1階リハーサル室
		19	第1回社内プレゼンテーション	本社
		22	上期監査役監査	本社
		22	新たな搾乳用TMR製造に係る会議	熊本県農業センター会議室
3	3	1	経営課月例会議	本社
		1	機械・倉庫運営管理班会議	本社
		1	定例取締役会	本社
		1	令和3年産水稻農作業委託申込書配布	管理課
		1	令和3年産水稻稲わら堆肥調査書配布	管理課
		5	東部・西部地区農地管理班会議	本社
		12	2021(令和3年産) 水稻育苗打合せ【(株)熊本野菜育苗センター】	本社
		12	人・農地プラン実質化における各地区での話し合い【大津南部東地区】	瀬田地区避難所
		12	人・農地プラン実質化における各地区での話し合い【大津南部西地区】	スポーツの森体育館2階サブアリーナ
		19	熊本広域農場連携会議	水前寺共済会館グレースシア1階
		24	(税)未来税務会計事務所による巡回監査(2月 月次監査)	本社
		31	ドローンナビゲーター講習会	本社機械倉庫
3	4	1	経営課月例会議	本社
		5	ねっとわーく広報 ~第19号~ 発行	
		5	定例取締役会	本社
		6	令和3年(2021年)4月以降の軽油引取税免税証等の交付	熊本県菊池地域振興局第2会議室
		8	新入社員スタートアップセミナー	肥後銀行熊本駅前支店2階セミナールーム
		8	佐賀市 西川副農事組合法人 視察研修受入れ	本社
		13	(税)未来税務会計事務所による巡回監査(3月 月次監査)	本社
		19	オペレーター安全講習会	本社
		23	管理課会議	本社
3	5	1	町区集落営農組合 視察研修受入れ	本社
		6	ものづくり補助金申請打合せ	公益財団法人くまもと産業支援財団
		7	経営課月例会議	本社
		7	発酵TMRに関する検討会(繁殖)	本社
		10	定例取締役会	本社
		13	(税)未来税務会計事務所による巡回監査(4月 月次監査)	本社
3	6	1	(税)未来税務会計事務所による巡回監査(5月 月次監査)	本社

年	月	日	名称・処理事項	
3	6	5	(税)未来税務会計事務所 決算打合せ来社対応	本社
		7	定例取締役会	本社
		24	大津南小学校 社会科見学(2年生)	本社
		28	『田植え体験』	陣内 雨留尾437-1 (2,400㎡)
		28	内示	本社
		29	宇城市 経済部 農政課 視察研修受入れ	本社

# 集落営農法人 ネットワーク大津(株)



ネットワーク大津(株)は13の集落持株会と本社から構成されている。

活動範囲:大津町白川沿岸の水田地帯。

令和2年度実績

経営規模:323.2ha 本社経営規模:13ha

基幹作物:水稲2.0ha 大豆109.7ha 飼料米88.3ha WCS63.7ha 麦237.2ha

事業内容:農作物の生産・加工・販売。農作業受託。食農教育交流事業他。

(1) 構成員数(出資者数)

令和2年度

287人(289人)

(2) 資本金・出資金

資本金 57,150,000円 (出資金 77,150,000円)

内 J A 3,750,000円 (5,000,000円)

内大津町 1,875,000円 (2,500,000円)

(3) 主要オペレーター数、雇用人数

OP・補助員登録 129名

社員9名(男性7名・女性2名) 契約社員 女性1名

(4) 経営面積

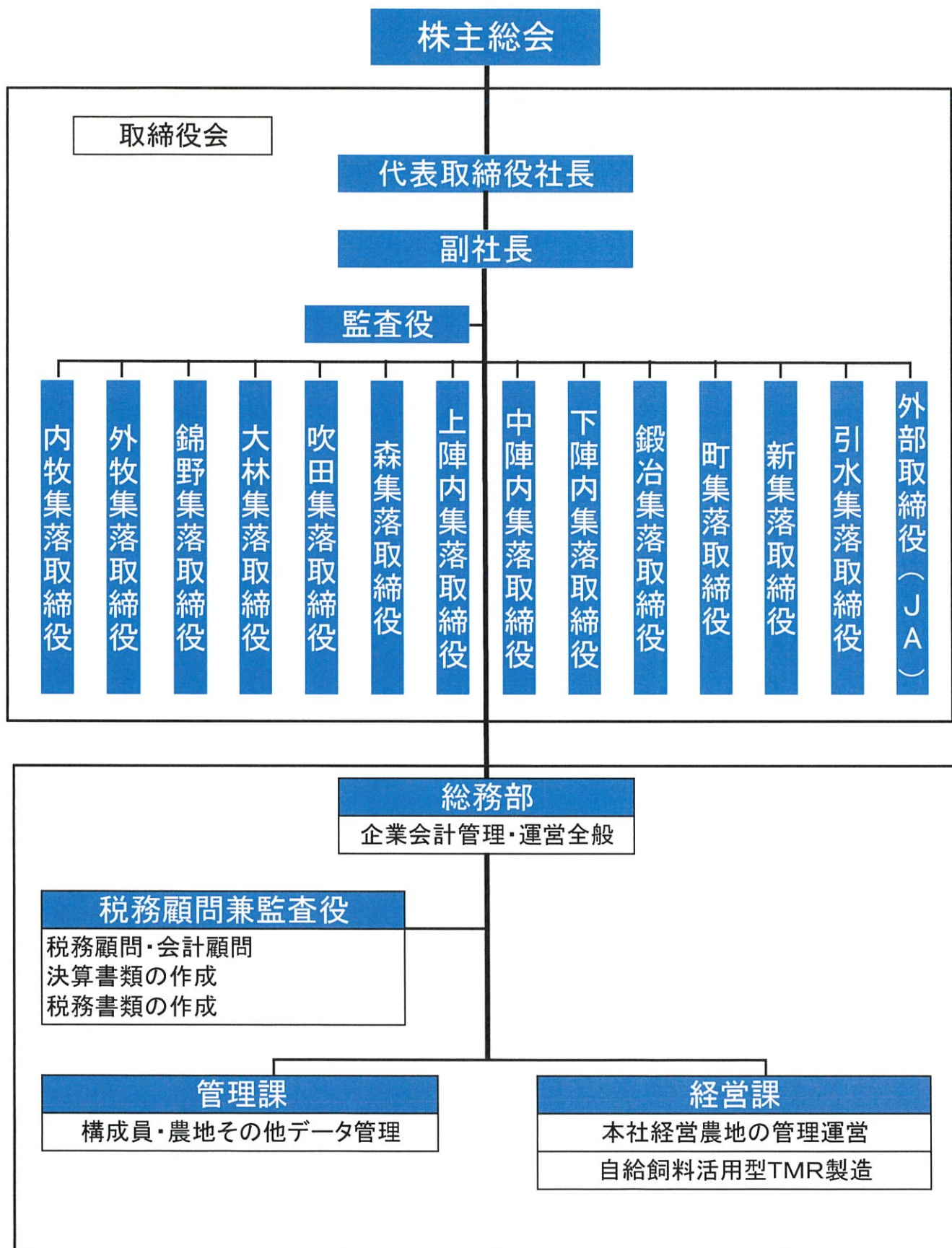
本社面積 0.4ha

利用権設定面積 158.7ha

特定作業受託面積 164.1ha

(5) 施設

施設	敷地面積	(建屋面積)
管理棟	1,141.91 m <sup>2</sup>	( 129.60 m <sup>2</sup> )
第1機械格納庫	1,800.02 m <sup>2</sup>	( 432.00 m <sup>2</sup> )
TMRセンター	2,898.70 m <sup>2</sup>	( 619.12 m <sup>2</sup> )







【ドローン】

NO	機械	メーカー	型式等	集落	導入年月	取得価額	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	備考
1	マルチローター	NJK	MG-1	ネットワーク大津	H29 7月	3,137,197	3	4	5	6	7	8	9	
2	マルチローター	クボタ	MG-1SAK	ネットワーク大津	R1 6月	1,987,200	1	2	3	4	5	6	7	平成30年度経営基盤準備金
3	マルチローター	DJI	T-20	ネットワーク大津	R2 11月	3,455,782	導入	1	2	3	4	5	6	経営継続補助金

【トラクター】

NO	能力等	メーカー	型式等	集落	導入年月	取得価額	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	備考
1	55ps トラクター	クボタ	M1-55	錦野	H9	0								
2	65ps トラクター	クボタ	M1-65	陣内ランド	H4	0								
3	46ps トラクター	三菱	MT468	陣内ランド	H19	0	13	14	15	16	17	18	19	
4	83ps トラクター	ヤンマー	EG83	陣内ランド	H21 9月	3,680,000	11	12	13	14	15	16	17	
5	80ps トラクター	クボタ	SMZ805	引水	H23 10月	5,180,000	9	10	11	12	13	14	15	
6	53ps トラクター	イセキ	TG553F	アグリ		0	12	13	14	15	16	17	18	
7	113ps トラクター	ヤンマー	YT5113	ネットワーク大津	H29 2月	8,330,000	3	4	5	6	7	8	9	日立キャピタルリース導入
8	28ps トラクター	クボタ	SL28HCMAEWF5B	ネットワーク大津	H29 12月	2,990,000	3	4	5	6	7	8	9	

【田植機】

NO	能力等	メーカー	型式等	集落	導入年月	取得価額	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	備考
1	6条 田植機	ヤンマー	RG6	内牧	H21 4月	1,340,000	11	12	13	14	15	16	17	
2	6条 田植機	ヤンマー	VP6C	内牧	H24 2月	228,900	8	9	10	11	12	13	14	
3	8条 田植機	ヤンマー	VP80RD	錦野	H21 9月	1,340,000	11	12	13	14	15	16	17	
4	8条 田植機	ヤンマー	RG8	錦野	H25 3月	2,600,000	7	8	9	10	11	12	13	
5	5条 田植機	クボタ	SPU50	吹田	H15	0	17	18	19	20	21	22	23	廃棄 R3 3月
6	6条 田植機	ヤンマー	VP60R	吹田	H21 9月	920,000	11	12	13	14	15	16	17	
7	6条 田植機	イセキ	PZ63	中陣内	H24 2月	1,280,000	8	9	10	11	12	13	14	
8	6条 田植機	ヤンマー	VP6C	陣内ランド	H19	228,000	13	14	15	16	17	18	19	廃棄 R3 3月
9	6条 田植機	クボタ	EP67-R	陣内ランド	H25 3月	0	7	8	9	10	11	12	13	
10	6条 田植機	ヤンマー	YR6D	ネットワーク大津	R1 6月	2,313,360	1	2	3	4	5	6	7	平成30年度経営基盤準備金

【TMRセンター】

NO	能力等	販売元	型式等	集落	導入年月	取得価額	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	備考
1	モーターパワーパック	ヤンマー		TMR	H31 3月	1,944,000	1	2	3	4	5	6	7	みらい基金
2	排出振分コンベア	ヤンマー		TMR	H31 3月	5,400,000	1	2	3	4	5	6	7	みらい基金
3	計量バーコンベア	ヤンマー		TMR	H31 3月	7,808,400	1	2	3	4	5	6	7	みらい基金
4	ラベラー	ヤンマー		TMR	H31 3月	1,512,000	1	2	3	4	5	6	7	みらい基金
5	エアコンプレッサー	ヤンマー		TMR	H31 3月	1,296,000	1	2	3	4	5	6	7	みらい基金
6	焼酎濃縮液移送ポンプ	ヤンマー		TMR	H31 3月	1,458,000	1	2	3	4	5	6	7	みらい基金
7	バルブ機器及び配管資材	ヤンマー		TMR	H31 3月	1,836,000	1	2	3	4	5	6	7	みらい基金
8	レベル計	ヤンマー		TMR	H31 3月	432,000	1	2	3	4	5	6	7	みらい基金
9	焼酎濃縮液タンク(2,000ℓ)	ヤンマー		TMR	H31 3月	1,620,000	1	2	3	4	5	6	7	みらい基金
10	排水タンク(施設内配管設置含む)	ヤンマー		TMR	H31 3月	1,242,000	1	2	3	4	5	6	7	みらい基金
11	給水ポンプ	ヤンマー		TMR	H31 3月	486,000	1	2	3	4	5	6	7	みらい基金
12	焼酎濃縮液用制御盤	ヤンマー		TMR	H31 3月	2,052,000	1	2	3	4	5	6	7	みらい基金
13	飼料攪拌機用制御盤	ヤンマー		TMR	H31 3月	3,024,000	1	2	3	4	5	6	7	みらい基金
14	計量コンベア・ラベラー制御盤	ヤンマー		TMR	H31 3月	3,769,200	1	2	3	4	5	6	7	みらい基金
15	130ps トラクター	クボタ	M7131P1	TMR	H30 9月	9,910,000	2	3	4	5	6	7	7	みらい基金
16	トラクター	ヤンマー	YT357J	TMR	H30 12月	3,515,454	2	3	4	5	6	7	7	みらい基金
17	トラック(4T)	いすゞ	100そ4089	TMR	H30 11月	6,515,370	2	3	4	5	6	7	7	みらい基金
18	ツインレーキ	クボタ	TR4560	TMR	H30 9月	1,100,000	2	3	4	5	6	7	7	みらい基金
19	テッダ	イセキ	GF587	TMR	H30 9月	1,170,000	2	3	4	5	6	7	7	みらい基金
20	ラッピングマシーン	イセキ	991BER	TMR	H30 9月	2,560,000	2	3	4	5	6	7	7	みらい基金
21	カッピングロールベアラー	ヤンマー	F5500	TMR	H30 9月	5,550,000	2	3	4	5	6	7	7	みらい基金
22	ホイールローダ	クボタ	ZW50-5B	TMR	H30 9月	5,000,000	2	3	4	5	6	7	7	みらい基金
23	パーチカルミキサー	ヤンマー	VT168S	TMR	H31 3月	14,904,000	1	2	3	4	5	6	7	みらい基金
24	フォークリフト	トヨタ	8FD25	TMR	H31 3月	4,536,000	1	2	3	4	5	6	7	みらい基金
25	ペールグラブ	丸九製作所	BG II-ZW50	TMR	R1 10月	509,300	1	2	3	4	5	6	7	
26	ペールスブリッタ	マケール	994BS	TMR	R2 2月	4,536,000	導入	1	2	3	4	5	6	
27	ツインレーキ	タカキタ	TR4560	TMR	R3 5月	1,375,000	導入	1	2	3	4	5	6	令和2年度経営基盤準備金

【車輛】

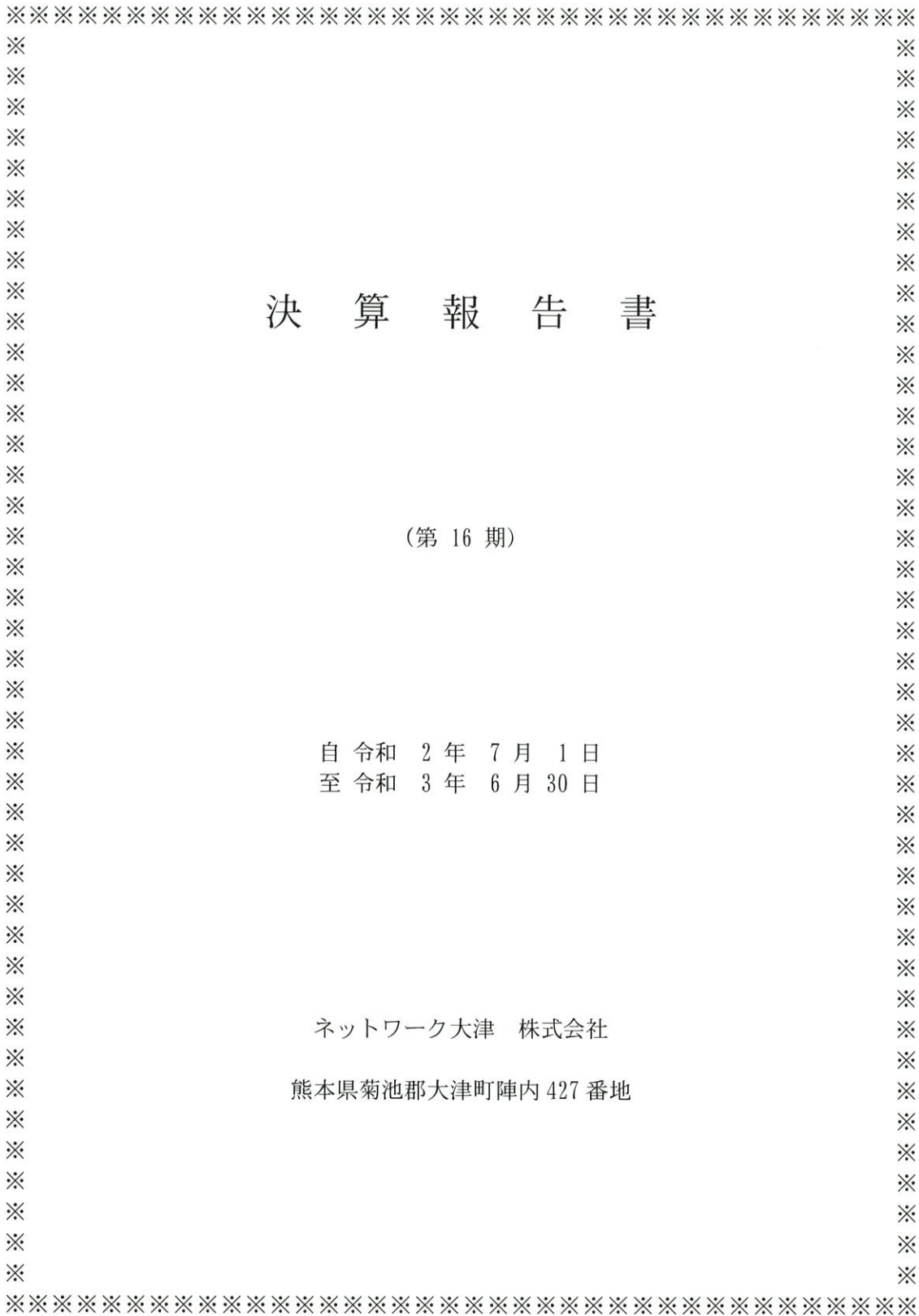
NO	機械	メーカー	型式等	集落	導入年月	取得価額	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	備考
1	トラック	トヨタ	46に1689	陣内ランド		0								
2	トラック	スズキ	480す3372	陣内ランド		407,000								
3	トラック(ダンプ)	三菱	400て5069	陣内ランド	H25 3月	3,461,850	7	8	9	10	11	12	13	
4	トラック(ダンプ)	三菱	400て5070	陣内ランド	H25 3月	3,461,850	7	8	9	10	11	12	13	
5	トラック	スズキ	480つ7801	ネットワーク大津	H27 7月	978,720	5	6	7	8	9	10	11	
6	軽貨物	スズキ	480つ7953	ネットワーク大津	H27 7月	1,236,200	5	6	7	8	9	10	11	
7	トラック(ダンプ)	日野	400に8651	ネットワーク大津	R3 6月	4,788,000		導入	1	2	3	4	5	持続化給付金

【作業機】

NO	機械	メーカー	型式等	集落	導入年月	取得価額	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	備考
1	あぜ塗り機	ニプロ	UZ350	錦野		0								
2	あぜ塗り機	ニプロ	DZR300E	新		250,000								R2 新区返却
3	あぜ塗り機	コバシ	XRV870T	ネットワーク大津	H26 3月	880,000	6	7	8	9	10	11	12	
4	ツインモア	山陽機器	ZM-45	陣内ランド	H25	1,000,000	7	8	9	10	11	12	13	
5	播種機	アグリテクノ	RXG-6SE	陣内ランド		257,000								
6	播種機	アグリテクノ	APH-60C	陣内ランド		197,000								
7	播種機	アグリテクノ	TFRG-3S	陣内ランド		219,000								
8	播種機	アグリテクノ	TDR-2K	アグリ	H14	0								
9	水稲用播種機	スズテック	HK307K	吹田	H21 9月	123,000	11	12	13	14	15	16	17	
10	播種機(麦)	アグリテクノ	PDR-2K	錦野		0								
11	播種機	アグリテクノ	RXG-8SEA	ネットワーク大津	H29 6月	964,000	3	4	5	6	7	8	9	
12	播種機	アグリテクノ	TFRG-4S	ネットワーク大津	H29 6月	714,000	3	4	5	6	7	8	9	
13	播種機	アグリテクノ	RXG-4SG	ネットワーク大津	H29 12月	485,000	3	4	5	6	7	8	9	
14	ハロー	ニプロ	HR2400B	錦野		0								
15	ハロー	スター	MPS2410	錦野		0								
16	ハロー	ニプロ	WRS3400B-S	陣内ランド		278,000								
17	ハロー	ニプロ	WMS4100BR	陣内ランド		350,000								
18	ハロー	ニプロ	HR2400B	陣内ランド		0								廃棄 R3 3月
19	ハロー	ニプロ	WMS4100N	引水	H23 10月	420,000	9	10	11	12	13	14	15	
20	ハロー	ニプロ	HVS-3500BR	アグリ										
21	ハロー	ニプロ	WMD4100N	ネットワーク大津	H29 2月	1,512,000	3	4	5	6	7	8	9	
22	ブロードキャスト	ニプロ	MP405	錦野	H20 2月	150,000	12	13	14	15	16	17	18	
23	ブロードキャスト	スター	MBC2060	陣内ランド		0								
24	ライムソー	スター	MLS1560	外牧		0								
25	ライムソー	タカキタ	LS1201HS	外牧		0								
26	ロータリー	ニプロ	LXR2210	陣内ランド		400,000								
27	ロータリー	ニプロ	MX2002	陣内ランド		0								廃棄 R3 3月
28	ロータリー	ニプロ	SX1910	陣内ランド		250,000								
29	ロータリー	ニプロ	LXR2210	引水	H23									
30	ロータリー	ニプロ	MXR1808-L	アグリ		0								
31	ロータリー	ニプロ	DXR2410-4L	ネットワーク大津	H29 2月	1,360,800	3	4	5	6	7	8	9	
32	ロータリーマルチ	クボタ	16031	ネットワーク大津	H29 9月	270,000	3	4	5	6	7	8	9	
33	麦踏鎮圧ローラー	サン機構	RXG-240N	ネットワーク大津	H31 1月	512,000	1	2	3	4	5	6	9	
34	麦踏鎮圧ローラー	宮崎自動車	RXG-240N	ネットワーク大津	R2 1月	356,000	導入	1	2	3	4	5	6	
35	ロータリーカルチ	イセキ	CR23-LBR	ネットワーク大津	R1 7月	644,760	1	2	3	4	5	6	7	
36	ロールペーラー	IHIアグリテック	TCR2240W	ネットワーク大津	R2 4月	3,600,000	導入	1	2	3	4	5	6	
37	ラッピングマシーン	IHIアグリテック	MWR1070W	ネットワーク大津	R2 4月	1,500,000	導入	1	2	3	4	5	6	
38	ブロードキャスト	IHIアグリテック	MGC401PN-0S	ネットワーク大津	R3 5月	704,000		導入	1	2	3	4	5	令和2年度経営基盤準備金
39	除草剤散布機	ヤマト農機	YS-22-1	ネットワーク大津	R3 5月	860,000		導入	1	2	3	4	5	※4台(215,000円/台)

【その他】

NO	機械	メーカー	型式等	集落	導入年月		取得価額	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	備考
1	管理機	クボタ	TA105N-W	ネットワーク大津	H29	2月	270,000	3	4	5	6	7	8	9	
2	コンバインカー	スター	TMT5020S	ネットワーク大津	H26	3月	485,000	6	7	8	9	10	11	12	
3	コンバインカー	スター	TMT5020S	ネットワーク大津	H26	3月	485,000	6	7	8	9	10	11	12	
4	荷受コンテナ			陣内ランド	H25		4,200,000	7	8	9	10	11	12	13	
5	フォークリフト	トヨタ	02-8FD20	ネットワーク大津	R1	6月	1,965,600	1	2	3	4	5	6	7	
6	運搬機	ヤンマー	MC130LD-V	ネットワーク大津	H29	5月	566,000	3	4	5	6	7	8	9	
7	ハウスシート巻上機	イリノ	MH520H	ネットワーク大津	H29	4月	367,000	3	4	5	6	7	8	9	
8	ハイフックフォーク	山陽機器		ネットワーク大津	H29	4月	149,000	3	4	5	6	7	8	9	
9	苗箱洗浄機	クボタ	DW-400	ネットワーク大津	H29	5月	149,000	3	4	5	6	7	8	9	
10	電動苗送りコンベア	ホクエツ	NRS-A	ネットワーク大津	H27	6月	121,000	5	6	7	8	9	10	11	
11	ハコベルコン	ホクエツ	71107	ネットワーク大津	H27	6月	277,000	5	6	7	8	9	10	11	
12	発電機	Denyo	GE-2000SS-1V	ネットワーク大津	H29	7月	185,000	3	4	5	6	7	8	9	
13	自動ハコツミ機	スズテック	AH9	ネットワーク大津	H30	5月	179,000	2	3	4	5	6	7	8	
14	高速苗箱供給機	スズテック	SNK800	ネットワーク大津	H30	5月	199,000	2	3	4	5	6	7	8	
15	苗箱並べ機	タイショー	BW-2A	ネットワーク大津	R1	6月	330,000	1	2	3	4	5	6	7	



# 決 算 報 告 書

(第 16 期)

自 令和 2 年 7 月 1 日  
至 令和 3 年 6 月 30 日

ネットワーク大津 株式会社  
熊本県菊池郡大津町陣内 427 番地

貸借対照表

令和 3 年 6 月 30 日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
【流動資産】	【 315,613,680 】	【流動負債】	【 211,450,803 】
現金及び預金	183,016,675	買掛金	27,402,670
売掛金	8,571,750	短期借入金	150,000,000
製品(麦の製造原価)	42,990,915	未払金	32,919,736
製品及び商品(TMR)	18,550,989	預り金	601,597
仕掛品(米の育成費用)	529,395	法人税等充当金	526,800
仕掛品(飼料用米の育成費)	13,207,728	【固定負債】	【 106,100,207 】
仕掛品(大豆の育成費用)	3,225,143	長期借入金	33,084,000
貯蔵品	706,173	退職給付引当金	4,629,167
貯蔵品(TMR)	9,324,296	リース債務	2,754,432
未収入金	31,127	農業経営基盤強化準備金	65,632,608
仮払消費税等	35,459,489		
【固定資産】	【 92,861,458 】		
(有形固定資産)	( 87,696,072 )	負債の部合計	317,551,010
建物	18,101,749	純資産の部	
建物附属設備	9,003,016	【株主資本】	【 90,924,128 】
構築物	31,371,254	(資本金)	( 57,150,000 )
機械装置	16,443,790	資本金	57,150,000
車輛運搬具	8,271,412	(資本剰余金)	( 20,000,000 )
工具器具備品	1,725,366	資本準備金	20,000,000
土地	2,779,485	(利益剰余金)	( 16,774,128 )
(無形固定資産)	( 1 )	利益準備金	1,146,000
ソフトウェア	1	繰越利益剰余金	15,628,128
(投資その他の資産)	( 5,165,385 )	(自己株式)	( △3,000,000 )
出資金	1,178,000	自己株式	△3,000,000
経営安定積立金(ケイ)	2,950,976		
JA共済積立金	656,504		
長期前払費用	326,165		
リサイクル預託金	53,740		
資産の部合計	408,475,138	純資産の部合計	90,924,128
		負債及び純資産の部合計	408,475,138

## 損益計算書

自 令和 2 年 7 月 1 日  
至 令和 3 年 6 月 30 日

科 目	令和 2 年度決算額		
		耕種部門	TMR 部門
<b>【純売上高】</b>			
米売上高	3,633,135	3,633,135	
麦売上高	29,108,188	29,108,188	
大豆売上高	32,849,036	32,849,036	
稲わら売上高	296,864	296,864	
受託作業収入	1,899,745	1,899,745	
TMR売上高	96,417,037		96,417,037
純売上高 計	164,204,005	67,786,968	96,417,037
<b>【売上原価】</b>			
米仕入高	1,389,960	1,389,960	
当期農業製造原価	586,956,021	509,544,043	77,411,978
売上原価 計	588,345,981	510,934,003	77,411,978
売上総利益(損失)	△ 424,141,976	△ 443,147,035	19,005,059
<b>【販売費及び一般管理費】</b>	48,995,235	40,787,089	8,208,146
営業利益(損失)	△ 473,137,211	△ 483,934,124	10,796,913
<b>【営業外収益(交付金等)】</b>			
営農継続支払交付金	69,448,000	69,448,000	
数量払交付金	109,098,617	109,098,617	
水田活用直接支払交付金(基幹作物)	164,299,500	164,299,500	
水田活用直接支払交付金(産地交付金)	108,130,309	108,130,309	
受取利息	1,847	1,802	45
受取農業共済金	1,392,537	1,392,537	
雑収入(消費税還付他)	44,542,737	44,471,807	70,930
雑収入(自給飼料供給事業)	5,085,980		5,085,980
営業外収益(交付金等) 計	501,999,527	496,842,572	5,156,955
<b>【営業外費用】</b>			
支払利息	122,310	122,310	
営業外費用 計	122,310	122,310	0
経常利益	28,740,006	12,786,138	15,953,868
<b>【特別利益】</b>			
経営基盤強化準備金戻入	16,036,102	16,036,102	
退職給付引当金戻入	3,392,500	3,392,500	
特別利益 計	19,428,602	19,428,602	0
<b>【特別損失】</b>			
経営基盤強化準備金繰入	34,000,000	20,000,000	14,000,000
固定資産圧縮損(準備金)	2,887,216	2,887,216	
退職給付引当金繰入	4,629,167	4,629,167	
特別損失 計	41,516,383	27,516,383	14,000,000
税引前当期純利益	6,652,225	4,698,357	1,953,868
法人税等充当額	1,607,800	1,377,300	230,500
当期純利益	5,044,425	3,321,057	1,723,368

## 販売費及び一般管理費

自 令和 2 年 7 月 1 日  
至 令和 3 年 6 月 30 日

科 目	令和 2 年度決算額		
		耕種部門	TMR 部門
役員報酬	5,160,000	5,160,000	
給料手当	10,406,438	8,845,473	1,560,965
法定福利費	3,336,588	3,336,588	
福利厚生費	2,398,246	2,267,479	130,767
減価償却費	2,813,827	2,538,534	275,293
総会費・会議費	35,140	32,630	2,510
旅費交通費	2,175,174	1,813,100	362,074
リース料	1,209,168	1,209,168	
修繕費	612,888	294,679	318,209
事務通信費	856,846	540,361	316,485
事務消耗品費	680,547	680,547	
消耗品費	681,949	509,058	172,891
水道光熱費	646,642	646,642	
租税公課	5,178,689	1,529,469	3,649,220
交際接待費	52,820	52,820	
保険料	2,606,238	1,837,938	768,300
通信費	867,679	814,778	52,901
諸会費	23,000	23,000	
地代家賃	1,210,000	1,210,000	
研修費	1,174,300	1,174,300	
支払手数料	95,920	60,995	34,925
新聞図書費	124,006	111,823	12,183
雑費	1,955,876	1,404,453	551,423
事務委託費	2,689,254	2,689,254	
集落運営費	2,004,000	2,004,000	
販売費及び一般管理費	48,995,235	40,787,089	8,208,146

農業原価報告書

自 令和 2 年 7 月 1 日  
至 令和 3 年 6 月 30 日

科 目	令和 2 年度決算額		
		耕種部門	TMR部門
<b>【材料費】</b>			
種苗費	20,087,043	20,087,043	
肥料費	27,980,370	27,980,370	
農薬費	22,390,383	22,390,383	
WCS経費	1,921,864	1,921,864	
TMR原材料仕入高	48,328,375		48,328,375
TMR諸材料費	5,976,715		5,976,715
材料費 計	126,684,750	72,379,660	54,305,090
<b>【労務費】</b>			
給料手当	25,239,913	12,486,183	12,753,730
農作業賃金	13,646,850	13,646,850	
法定福利費	3,271,996	1,618,656	1,653,340
労務費 計	42,158,759	27,751,689	14,407,070
<b>【作業委託管理費】</b>			
作業委託管理費	316,834,915	316,834,915	
作業委託管理費 計	316,834,915	316,834,915	
<b>【農業経費】</b>			
農機具消耗品費	1,322,110	1,322,110	
燃料費	3,417,628	2,832,236	585,392
修繕費	14,159,785	9,760,621	4,399,164
小農具賃貸料	3,338,850	3,334,100	4,750
資材、材料農具	2,154,945	1,833,085	321,860
減価償却費	10,138,873	6,254,253	3,884,620
カトリ-利用料	28,195,110	28,195,110	
農業共済掛金	8,657,144	8,657,144	
農業雑費	357,798	294,108	63,690
土地改良賦課金	4,592,860	4,587,860	5,000
支払小作料	14,327,047	14,327,047	
TMR荷造運賃	6,296,268		6,296,268
TMR衛生費	869,000		869,000
TMR水道光熱費	3,177,272		3,177,272
農業経費 計	101,004,690	81,397,674	19,607,016
総製造費用	586,683,114	498,363,938	88,319,176
期首製品棚卸高	54,804,876	46,307,024	8,497,852
期首仕掛品棚卸高	25,573,535	25,573,535	
期首貯蔵品棚卸高 (TMR)	8,429,135	6,266,897	2,162,238
期末製品棚卸高	42,990,915	42,990,915	
期末製品商品棚卸高 (TMR)	18,550,989		18,550,989
期末仕掛品棚卸高	16,962,266	16,962,266	
期末貯蔵品棚卸高	706,173	706,173	
期末貯蔵品棚卸高 (TMR)	9,324,296	6,307,997	3,016,299
当期農業製造原価	586,956,021	509,544,043	77,411,978



## 株主資本等変動計算書

自 令和 2 年 7 月 1 日  
至 令和 3 年 6 月 30 日  
単位 円

	株主資本								純資産の部
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		自己株式	株主資本	
		資本準備金	資本剰余金		繰越利益剰余金	利益剰余金			
当期首残高	57,150,000	20,000,000	20,000,000	959,000	12,640,703	13,599,703	△3,000,000	87,749,703	87,749,703
当期変動額									
利益剰余金の配当					△1,870,000	△1,870,000		△1,870,000	△1,870,000
配当に伴う 利益準備金の積立				187,000	△187,000				
当期純損益金					5,044,425	5,044,425		5,044,425	5,044,425
当期変動額合計				187,000	2,987,425	3,174,425		3,174,425	3,174,425
当期末残高	57,150,000	20,000,000	20,000,000	1,146,000	15,628,128	16,774,128	△3,000,000	90,924,128	90,924,128

個 別 注 記 表

自 令和 2 年 7 月 1 日

至 令和 3 年 6 月 30 日

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
最終仕入原価法
2. 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産 法人税法の規定による定額法及び定率法
3. 引当金の計上基準  
退職給付引当金  
退職給付に備えるため、退職金規定に基づいて計上しています。
4. 計算書類の作成のための基本となる重要な事項  
消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

II. 貸借対照表に関する注記

- |    |                |               |
|----|----------------|---------------|
| 1. | 有形固定資産の減価償却累計額 | 158,692,557 円 |
|----|----------------|---------------|

III. 株主資本等変動計算書に関する注記

- |    |   |                 |
|----|---|-----------------|
| 1. | 当該事業年度の末日における発行済株式の数  | 193 株           |
| 2. | 当該事業年度の末日における自己株式の数   | 6 株             |
| 3. | 当該事業年度に行う剰余金の配当に関する事項<br>令和 2 年 9 月 11 日の定時株主総会において、次の通り決議されました |                 |
|    | ①配当金の総額   | 1,870,000 円     |
|    | ②配当の原資  | 利益剰余金           |
|    | ③一株当たり配当額   | 10,000 円        |
|    | ④基準日  | 令和 2 年 6 月 30 日 |

IV. 一株当たり情報に関する注記

- |    |        |                |
|----|--------|----------------|
| 1. | 純資産額   | 471,109 円 47 銭 |
| 2. | 当期純利益額 | 26,136 円 91 銭  |

# 勘定科目内訳書

( 第 16 期 )

自 令和 2 年 7 月 1 日  
至 令和 3 年 6 月 30 日

ネットワーク大津 株式会社

**預貯金等の内訳書**

金融機関名	支店名	種類	口座番号	期末現在高 <sub>円</sub>	摘要
		現金		27,776	
菊池地域農協	大津中央支所	普通預金	0028757	182,450,224	
肥後銀行	大津支店	〃	2115403	500,675	
計				182,950,899	
		商品券		38,000	
合	計			183,016,675	

- (注) 1. 取引金融機関別に、かつ、預貯金の種類別に記入してください。  
 なお、記載口数が100口を超える場合には、期末現在高の多額なものから100口についてのみ記入しても差し支えありません。
2. 預貯金等の名義人が代表者になっているなど法人名と異なる場合には、「摘要」欄に「名義人〇〇〇〇」のようにその名義人を記入してください。

### 仮払金(前渡金)の内訳書

科目	相手先		期末現在高 円	摘要
	名称(氏名)	所在地(住所)		
仮払消費税	菊池税務署	消費税還付額	35,459,489	
経営安定積立金	九州農政局	収入減少影響緩和交付金における積立	2,950,976	
JA共済積立金	J A 菊池	建物更生 事務所	169,545	
〃	〃	建物更生 機械倉庫	221,048	
〃	〃	建物更生 SGS倉庫	265,911	
計			656,504	
長期前払費用	日立キャピタル(株)	856,184*32/84	326,165	

- (注) 1. 「科目」欄には、仮払金、前渡金の別を記入してください。  
 2. 相手先別期末現在高が50万円以上のものについては各別に記入してください。  
 3. 相手先が「役員、株主又は関係会社」のものについては、期末現在高が50万円未満であっても全て各別に記入してください。  
 4. 上記2により記載すべき口数が100口を超える場合には、次の①又は②の方法により記入しても差し支えありません。  
 ① 期末現在高の多額なものから100口についてのみ記入(この場合、100口目には50万円未満のものも含む残額全てを一括して記入)なお、相手先が「役員、株主又は関係会社」である場合には、当該事項も含めて100口となるように記入してください。  
 ② 期末現在高を自社の支店又は事業所別等で記入(支店又は事業所等の名称を「名称(氏名)」欄に記入するとともに、「期末現在高」欄にその支店又は事業所等の合計金額(50万円未満のものも含む合計金額)を記入)なお、記載口数が100口を超えるか否かは、仮払金と前渡金との合計口数で判断してください。  
 5. 「摘要」欄には、例えば「機械設備の購入手付金」、「仮払税金」等と記入してください。  
 なお、上記4②の記載方法による場合には、記入しなくても差し支えありません。

### 貸付金及び受取利息の内訳書

貸付先		期末現在高 円	期中の受取利息額 円	利率 %	担保の内容 (物件の種類、数量、所在地等)
名称(氏名)	所在地(住所)				
菊池地域農協/大津中央支所			1,847		
合計			1,847		

- (注) 1. 貸付先別期末現在高が50万円以上のものについては各別に記入し、その他は一括して記入してください。  
 2. 貸付先が「役員、株主又は関係会社」のものについては、期末現在高が50万円未満であっても全て各別に記入してください。  
 また、「期末現在高がないものであっても期中の受取利息額(未収利息を含みます。)が3万円以上」のものについては、各別に記入してください。  
 3. 上記1により記載すべき口数が100口を超える場合には、次の①又は②の方法により記入しても差し支えありません。  
 ① 期末現在高の多額なものから100口についてのみ記入(この場合、100口目には50万円未満のものも含む残額全てを一括して記入)なお、「貸付先が役員、株主又は関係会社のもの」又は「期末現在高がないものであっても期中の受取利息額(未収利息を含みます。)が3万円以上のもの」がある場合には、当該事項も含めて100口となるように記入してください。  
 ② 期末現在高を自社の支店又は事業所別等で記入(支店又は事業所等の名称を「名称(氏名)」欄に記入するとともに、「期末現在高」欄及び「期中の受取利息額」欄にその支店又は事業所等の合計金額(50万円未満のものも含む合計金額)を記入)  
 4. 「利率」欄には、同一の貸付先に対する利率が2以上ある場合には、そのうち期末に近い時期における受取利息の利率を記入してください。

## 棚卸資産(商品又は製品、半製品、仕掛品、原材料、貯蔵品)の内訳書

科 目	品 目	数 量	単 価 円	期 末 現 在 高 円	摘 要
製 品	麦の製造原価			42,990,915	
製品及び商品	TMR製造			18,550,989	TMR部門
仕 掛 品	米の育成費用			529,395	
〃	飼料用米の育成費用			9,092,162	
〃	飼料用稲の育成費用			4,115,566	
〃	大豆の育成費用			3,225,143	
計				16,962,266	
貯 蔵 品	TMR SGS他			6,307,997	
〃	TMR WCS他			3,016,299	TMR部門
〃	農薬			706,173	
計				10,030,469	
合 計				88,534,639	

- (注) 1. 「科目」欄には、商品又は製品、半製品、仕掛品（半成工事を含みます。）、原材料、貯蔵品、作業くず、副産物等のように記入してください。  
 なお、記載口数が100口を超える場合には、期末現在高の多額なものから100口についてのみ記入しても差し支えありません。
2. 「品目」欄には、例えば「紳士用革靴」のように記入し、それ以上細分して記入しなくても差し支えありません。
3. 評価換えを行った場合には、「摘要」欄に「評価損〇〇〇円」のようにその評価増減額を記入してください。

## 第8期余剰金処分（案）承認の件

当期末処分利益 5,044,425円

利益処分として次のように

利益配当金 1,870,000円（1株当たり10,000円）

利益準備金 187,000円

次期繰越金 2,987,425円

ネットワーク大津株式会社  
代表取締役 徳永 浩二 殿

#### 監査報告書提出について

監査役は、会社法第381条の規定に基づき監査報告書を作成致しましたので下記のとおり提出致します。

#### 監査報告書

監査役は、令和2年7月1日から令和3年6月30日までの本事業年度の取締役の職務執行を監査致しました。その方法及び結果につき以下のとおり報告致します。

##### 1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め重要な決裁書類等閲覧し、本社において業務及び財産の状況を調査致しました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその付属明細書について検討致しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書等）について検討致しました。

##### 2. 監査の結果

###### (1) 事業報告等の監査結果

①事業報告及びその付属明細書は法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。

②取締役の職務執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

###### (2) 計算書類の監査結果

①計算書類及びその付属明細書は、会社の財産及び損益状況をすべての重要な点において、適正に表示しているものと認めます。

令和3年8月7日  
ネットワーク大津株式会社  
監査役 赤星 信俊  
監査役 林田 昭信





上記の通りご報告申し上げます。

令和 3 年 9 月 9 日

ネットワーク大津 株式会社

代 表 取 締 役	徳 永 浩 二	
取 締 役	月 尾 正 一	
取 締 役	阪 田 良 一	
取 締 役	吉 永 弘 則	
取 締 役	錦 野 隆 夫	
取 締 役	西 本 晶	
取 締 役	西 本 雄 一	
取 締 役	岡 村 勉	
取 締 役	吉 山 一 豊	
取 締 役	江 藤 堅 治	
取 締 役	樋 口 陽 一	
取 締 役	上 田 俊 継	
取 締 役	岩 下 國 敏	
取 締 役	大 村 吉 幸	

# 第2号議案

## 第9期事業計画及び予算について

### ①基本方針

#### (1) 基本方針

1. 地域コミュニティの再構築
2. 地域農地・農業の維持保全
3. 老若男女担い手として適材適所雇用の場の確保（生涯現役で活躍）
4. 地域農業の担い手育成として若手社員を採用し個々に応じた実践教育を行い  
多種多様な人材を育てるインキュベーター機能を担う。
5. 食農教育の実践

#### (2) 重点項目

##### 【地域に根差した土地利用型農業の低コスト体制確立】

1. 飼料用米・麦・大豆の実証試験に伴う増収計画の実践。（目標の設定）
2. 農地バンクによる農地集積・集団的土地利用等による低コスト生産体制の確立。
3. 麦・水稻栽培においてわらの供給・良質堆肥の投入による耕畜連携の強化。  
（本社ではペレット堆肥を散布）
4. 耕畜連携により安全・安心・安価な飼料自給率の高いTMRの増産。
5. 地域児童との年間を通じた体験学習の実践

##### 【地域担い手支援】

J A・メーカー等に協力を頂き、技術・能力向上を図るために定期的なオペレーター講習会への取組み。

## ②事業方針及び実践計画

### (1) 総務

時代に即応した経営戦略を実践するために、諮問機関としての各種班会議（東部地区農地管理班・西部地区農地管理班・本社農地管理班・機械倉庫管理班・TMRセンター運営管理班）の活性化を図ります。まず、新たに社内組織に事業の企画立案を行う部署（企画係）を新設します。立案された新事業を各担当班会議に諮問し慎重に議論を重ねていき、定期取締役会にて議案の実践・実行を進めます。

オペレーターの技術向上・農作業事故防止のため、定期講習会を実施し始業点検・整備技術・安全講習等を実施します。

リスク管理体制の徹底を図るために、外部監査役として学識経験者の登用と農業分野の専門知識に優れた税務顧問による指導の強化、定期監査を実施します。

中間管理機構を活用した農地集積を推進し、農地法に基づく適正な賃貸契約を進め闇小作解消に努めます。

### (2) 運営

集落単位での運営を基本としながら、各種班会議で連携を図り効率的な運営体制に取り組みます。第1機械倉庫（本社倉庫）また、数年後を見据えた第2機械倉庫（東部地区）の拠点化により高度なネットワーク化を実施します。

地域の幼稚園・保育園・小学校を対象に積極的な食農教育に取り組みます。

### (3) 作付・栽培

飼料用米（SGS）は、移植栽培方式を基準とし、地域による適期移植時期と定期ウンカ調査により、ドローンによる適期防除を徹底し、臨機防除を実施します。合わせて、箱剤播種同時処理実証試験の効果を見ながらウンカ防除対策を実行します。（目標 600 kg/10a）

大豆は、ブロック地区の取り組みとして適期播種を実施し、梅雨入り時期の播種の遅延を回避し、除草剤の播種同時散布により作業の効率化・コスト低減を図ります。3～5本葉が出たころ特殊肥料（花吹雪）を農薬と同時散布することにより増収を目指します。（目標 300 kg/10a）

麦は、県北広域本部、大津町、JA 菊池の指導の基、生臭黒穂病の発生を防ぐため、小麦から大麦への転換を実施します。又、種子更新、種子消毒、圃場確認調査をし、徹底した適期作業を実施することにより高品質・増収に向け取り組んでいきます。（目標 500 kg/10a）

#### (4) 機械・施設

第1 機械格納庫・第2 機械格納庫・管理棟の拠点化により、高度で効率的な機械稼働のネットワークを実施します。ネットワーク大津(株)の機械整備計画に基づき理想所有台数の維持を図ります。

農業経営改善計画書に基づいた農業経営基盤強化準備金の計画的な積立及び取り崩しにより、機械・施設等の更新を進め生産方式の合理化を図ります。

また、スマート農業により、作業効率、生産性の向上、機械化一貫体系を確立し、省力労力低コスト化を目指します。

#### (5) 自給飼料活用型TMR供給事業

SGS（粳米サイレージ）製造について、令和3年度は昨年と同規模の作付面積で約90haとなっており、収穫量も同じく約640t（1,400ロール分）となり、10月上旬で収穫及び加工梱包を計画しています。

わら収穫については、稲わらが収穫面積46haで約270t（900ロール分）、麦わらが収穫面積60haで約270t（900ロール分）の収穫及び梱包を計画しています。

TMR製造は、年間製造量4,500t、出荷量約4,000tを新たな目標として設定し、現在販売を行っている畜産農家への安定供給はもちろんのこと、新たな畜産農家への販売展開を推進していきます。生産拡大に向けて必要な対策を検討し、生産管理体制を引き続き整えていきます。

令和3年度 混合飼料供給計画

	令和2年実績						令和3年度計画							
	繁殖		肥育	搾乳	試験	月計	繁殖			肥育	搾乳	試験(肥育)		月計
	1号	3号	2号	4号			1号	3号	試作	2号	4号	前期	後期	
7月	39 t	61 t	24 t	95 t	6 t	225 t	30 t	100 t		40 t	150 t	4 t	4 t	328 t
8月	24 t	51 t	20 t	115 t	33 t	242 t	30 t	100 t		40 t	150 t	4 t	4 t	328 t
9月	30 t	63 t	37 t	102 t	15 t	247 t			130 t	40 t	150 t	4 t	4 t	328 t
10月	23 t	53 t	41 t	114 t	2 t	234 t			130 t	40 t	150 t	4 t	4 t	328 t
11月	28 t	67 t	32 t	97 t	16 t	240 t			130 t	40 t	150 t	4 t	4 t	328 t
12月	32 t	66 t	25 t	109 t	29 t	259 t			130 t	40 t	150 t	4 t	4 t	328 t
1月	25 t	91 t	28 t	73 t	8 t	225 t			130 t	40 t	150 t	4 t	4 t	328 t
2月	35 t	56 t	26 t	86 t	8 t	210 t			130 t	40 t	150 t	4 t	4 t	328 t
3月	34 t	85 t	29 t	90 t	41 t	280 t			130 t	40 t	150 t	4 t	4 t	328 t
4月	37 t	70 t	32 t	115 t	8 t	262 t			130 t	40 t	150 t	4 t	4 t	328 t
5月	25 t	68 t	27 t	136 t	4 t	260 t			130 t	40 t	150 t	4 t	4 t	328 t
6月	26 t	50 t	16 t	174 t	4 t	270 t			130 t	40 t	150 t	4 t	4 t	328 t
合計	358 t 780 t		336 t	1,306 t	175 t	2,954 t	60 t	200 t	1,300 t	480 t	1,800 t	48 t	48 t	3,936 t
	1,137 t						1,560 t							
給与頭数	312頭		92頭	119頭	48頭		427頭			132頭	164頭	13頭	13頭	

# 令和3年度 事業計画書

年	月	日	事業内容	備考
3	7	第1月曜日	定例取締役会	
		第1月曜日	ねっとわーく広報～第20号～発行	
3	8	上旬	農作業受委託契約書の取りまとめ	
		上旬	稲わら契約書の配布	
		上旬	令和2年度下期監査役監査及び講評	
		上旬	大菊土地改良区賦課金・白川維持費の支払い	
		中旬	定例取締役会	
		下旬	臨時取締役会(株主総会前)	
3	9	9	ネットワーク大津(株)定時株主総会	大津中央支所会議室
		第2月曜日	令和3年作付(令和4年産)麦の作業委託申込書配布	
		中旬	定例取締役会	
		下旬	飼料用米(SGS)刈取り開始	TMR
		下旬	飼料用米加工調製	TMR
		下旬	消費税還付	TMR・本社
3	10	第1月曜日	定例取締役会	
		第1月曜日	ねっとわーく広報～第21号～発行	
		上旬	令和3年作付(4年産)麦台帳配布	
		上旬	令和5年度(産)作付け計画書の配布	
		中旬	女性部(稲刈り体験打合せ)	
		下旬	稲刈り体験	
3	11	第1月曜日	定例取締役会	
		上旬	令和5年産 水稻育苗注文の配布	
3	12	第1月曜日	定例取締役会	
		上旬	令和5年作付(5年産)、水稻・大豆種子注文【取りまとめ】	大津資材店舗より
		29	仕事納め式	
4	1	6	仕事始め式	
		6	定例取締役会	
		第1月曜日	ねっとわーく広報～第22号～発行	
		中旬	確定申告証明書決裁会議(西田税理士・中山)	
4	2	1	確定申告等添付証明書の郵送	
		第1月曜日	定例取締役会	
		上旬	園児・児童参加による麦ふみフェスティバル	
		下旬	上期監査役監査	
4	3	第1月曜日	定例取締役会	
		上旬	令和4年産水稻農作業委託申込書の配布	
		上旬	令和4年産水稻稲わら堆肥調査書の配布	
		上旬	令和4年産水稻資材関係予約注文書【取りまとめ】	大津資材店舗より
4	4	第1月曜日	定例取締役会	
		第1月曜日	ねっとわーく広報～第23号～発行	
		上旬	JA菊池提出用 米・麦・大豆出荷契約【取りまとめ】	南部カントリー
		中旬	オペレーター安全講習会	車輛センター
4	5	第1月曜日	定例取締役会	
		上旬	令和4年産 大豆農作業委託申込書配布	
		上旬	令和4年度 作業員オペレーター登録書の配布	

年	月	日	事業内容	備考
4	6	第1月曜日	定例取締役会	
		上旬	令和4年産 大豆資材予約注文書【取りまとめ】	大津資材店舗より
		上旬	令和5年度作付(6年産) 麦種子予約注文書【取りまとめ】	大津資材店舗より
		下旬	田植え体験	

※ 未来税務会計事務所による定期監査 月1回

※ 経営課月例会議 毎月第一月曜日

※ 管理課会議 四半期毎

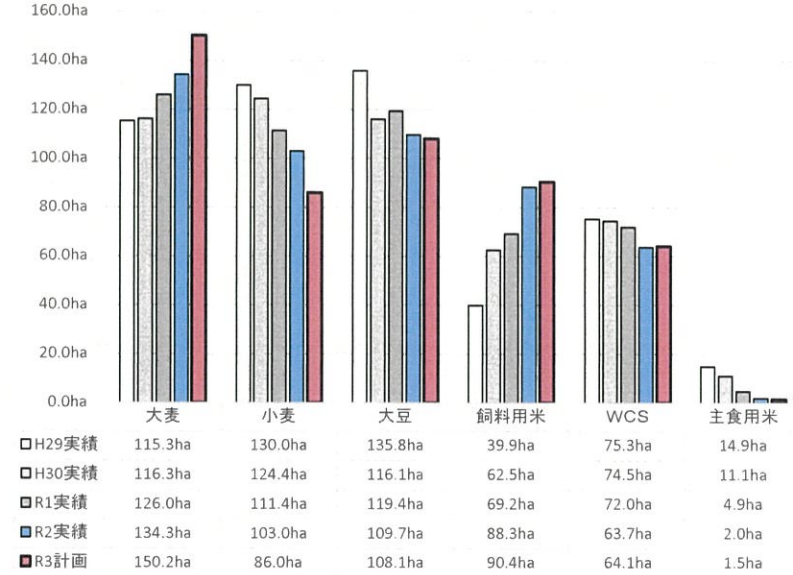
# 令和3年産作付計画書(麦は3年実績)

単位㎡

集落	大麦 はるしづく	小麦 ミネカオリ	飼料作物
本社	82,180	46,658	
内牧	131,920		63,390
外牧	89,030	10,360	12,560
錦野	222,176	32,250	15,020
大林	14,500	67,620	10,220
吹田	136,605	5,790	1,130
森	121,465	64,230	
上陣内	111,690	163,749	3,077
中陣内	109,080	60,156	
下陣内	43,570	77,154	
鍛冶	89,220	72,070	
町	138,535	121,284	5,860
新	46,850		43,630
引水	165,537	138,187	
合計	1,502,358	859,508	154,887
水田	1,352,934	829,798	

大麦 小麦 飼料作物  
150.2ha 86.0ha 15.5ha  
236.2ha

### 作付け年度比較



単位㎡

集落	大豆	飼料用米 SGS 夢あおば	WCS				主食用米(自家用米除く)			飼料作物	
			夢あおば	あきまさり	ミネムタカ	ヒノヒカリ	ヒノヒカリ	ひよくもち			
本社	61,838	73,620					2,400		2,400		
内牧	2,500		142,590	138,720		3,870	2,150	2,150		85,120	
外牧	26,840	93,160	22,790			22,790				39,820	
錦野	130,106	146,090	6,600			6,600				20,310	
大林			111,993	106,983		5,010	6,450	6,450		65,383	
吹田	34,820		144,933	138,463	6,470					43,160	
森	119,998	11,940	85,920	85,920						61,758	
上陣内	131,656	127,250	29,980	14,270			4,330	4,330		11,120	
中陣内	93,003	66,140	40,190	40,190						33,860	
下陣内	73,964	54,130									
鍛冶	67,990	84,600									
町	133,475	114,996	7,640	7,640						8,730	
新	21,050		48,790	15,350	33,440					54,960	
引水	184,034	131,850									
合計	1,081,274	903,776	641,426	547,536	39,910	38,270	15,710	15,330	12,930	2,400	424,221
水田	915,295										

大豆 飼料用米 WCS 主食用米 飼料作物  
108.1ha 90.4ha 64.1ha 1.5ha 42.4ha

### ③ 予算

#### (1) 損益計算書

[税込] (単位：千円)

科 目	令和2年度 決算額	令和3年度予算額		
			耕種部門	TMR部門
【純売上高】				
米売上高	3,633	2,860	2,860	
麦売上高	29,108	28,000	28,000	
大豆売上高	32,849	31,000	31,000	
稲わら売上高	297	168	168	
受託作業収入	1,900	1,900	1,900	
TMR売上高	96,417	118,000		118,000
純売上高 計	164,204	181,928	63,928	118,000
【売上原価】				
米仕入高	1,390	1,100	1,100	
当期農業製造原価	586,956	604,400	510,000	94,400
売上原価 計	588,346	605,500	511,100	94,400
売上総利益(損失)	△ 424,142	△ 423,572	△ 447,172	23,600
【販売費及び一般管理費】	48,995	51,500	45,000	6,500
営業利益(損失)	△ 473,137	△ 475,072	△ 492,172	17,100
【営業外収益(交付金等)】				
営農継続支払交付金	69,448	68,900	68,900	
数量払交付金	109,099	108,000	108,000	
水田活用直接支払交付金(基幹作物)	164,299	170,500	170,500	
水田活用直接支払交付金(産地交付金)	108,130	110,000	110,000	
受取利息	2	2	2	
受取農業共済金	1,392	0	0	
雑収入(消費税還付他)	44,543	38,500	38,500	
雑収入(自給飼料供給事業)	5,086	0	0	
営業外収益(交付金等) 計	501,999	495,902	495,902	0
【事業外費用】				
支払利息	122	122	122	
営業外費用 計	122	122	122	
経常利益(損失)	28,740	20,708	3,608	17,100
【特別利益】				
経営基盤強化準備金戻入	16,036	65,000	25,000	40,000
退職給付引当金戻入	3,392	4,600	4,600	
特別利益計	19,428	69,600	29,600	40,000
【特別損失】				
経営基盤強化準備金繰入	34,000	35,000	10,000	25,000
固定資産圧縮損(準備金)	2,887	40,000	10,000	30,000
退職給付引当金繰入	4,629	6,600	6,600	
特別損失計	41,516	81,600	26,600	55,000
税引前当期純利益(損失)	6,652	8,708	6,608	2,100
法人税等充当額	1,608	2,177	1,652	525
当期純利益(損失)	5,044	6,531	4,956	1,575



## (2) 固定資産の取得について

内 容	取得予定価格	備 考
農業用施設・機械・農用地等	65,000 千円	農業経営基盤準備金の範囲内とする。
固定資産取得に関しては、取締役会で決定する。		

## (3) 取締役の報酬について

総額を500万円とし各取締役の報酬については、その15名以内において取締役会で決定する。

## (4) 監査役の報酬について

監査役の報酬について、年総額24万円（2名）とする。

## 第3号議案

### 役員を選任に関する件

取締役 田畑 環

取締役 吉永 弘則

取締役 田中 智顕

取締役 西本 晶

取締役 西本 雄一

取締役 藤本 勝昭

取締役 吉永 明彦

取締役 江藤 堅治

取締役 徳永 浩二

取締役 樋口 陽一

取締役 上田 俊継

取締役 岩下 國敏

取締役 月尾 正一

取締役 大村 吉幸

監査役 林田 昭信